

横浜市とコンビニ業界との 帰宅困難者対策協定は機能せず

横浜市もそのメンバーである、首都圏の都県と政令市で広域連携する8都県市では「災害時における帰宅困難者支援に関する協定」を数年前からコンビニエンスストア業界やファミリーレストラン、スーパーマーケットなどと締結しています。支援の内容は、大規模災害により交通が途絶した際、徒歩帰宅者に対し水道水やトイレを提供する、災害情報を提供する、一時的に休憩の場を提供する、となっています。しかし、今回の災害ではこの協定はほとんど守られていません。

横浜市の会議員黒川まさるは、この4年間の任期中に実現すべき政策を「責任と約束」と題したローカルマニフェストにまとめ、市民に発信しています。8本の条例提案と5本の政策集からなる政策集では地域のつながりを大切にすることによって安心・安全な暮らしと市民の幸せを創り出すまちづくりを目指しています。LDPマニフェストを一つ一つ実現していくことが、私たちよこはま市民が信頼される政党となれる唯一の手段だと思います。



なぜこの協定が機能しなかったのか、横浜市からコンビニ業界やスーパー・ファミレスに店舗を開店するよう要請はしなかったのかを聞いてみました。

当局からの回答は、この協定では災害時にこれらの店舗が横浜市からの要請がなくても自主的に営業することになっており、特に要請はしていないという信じがたい回答でした。

横浜市は協定を締結してマスキニに発表することが目的であり、協定を実行させることは相手任せなのかと詰問し、一度とこのようなことがないよう強く申し入れました。

当局からはいまのところの回答もありませんが、数日後に某コンビニチェーンのフランチャイズのオーナーをしている友人から連絡が入り、本部から通達が来て、帰宅困難者発生時の開店に関する注意事項、停電時の商品の販売方法などの細かいマニュアルが送られてきて、災害時には閉店してはいけないと記載されていたとのことでした。同じような事態になった時には今は大丈夫だと思えますが、しっかり行政に対しては議会の場を通じて確認してまいります。

大災害時における 政治家の職務・責任とは

地方政治家として、黒川まさるは全国組織のローカルマニフェスト推進地方議員連盟の共同代表を務めています。500人を超える議員連盟のメンバーには、若手・宮城・福島地方議員も多くおり、綿密に連絡を取り合っています。

残念ながら親族や親友を失ったり、いまだに行方不明だという仲間もいます。避難所を飛び回り、御用聞きのように足りないもの、必要なものを聞いてはそれを調達し飛び回っている仲間もいます。ボランティアの受け入れ窓口としてリーダーシップを発揮している仲間もいます。それぞれに自分自身の役割を見つけ、地域の人々と行政との間で寝る間も惜しんで活躍しています。

私たち地方議員に与えられている権限は決して大きなものではありません。しかし、市民の代表として行政に指摘をし、市長に対して注文を付けることや、条例の提案などで行政の仕組みを作ることは私たち地方政治家がやらなければならない大切な仕事です。

行政の職員は、決まった仕事や与えられた職務を遂行するという点においては最高の能力を発揮します。しかし、臨機応変の対応といった点においては不得手な人が多いためです。

しかし、このような時には市民のニーズは千差万別で、それぞれに応じた対応が必要で、その時に力を発揮しなければならぬのが政治家だと私は考えます。金沢区でも今回の震災で苦しんでいる人たちがいます。現行の行政の常識では対応できないことだとしても、非常事態に直面して困っている区民・市民に対して何かできることはないかと知恵を絞らなければ政治家として市民から選ばれた責任は果たせません。



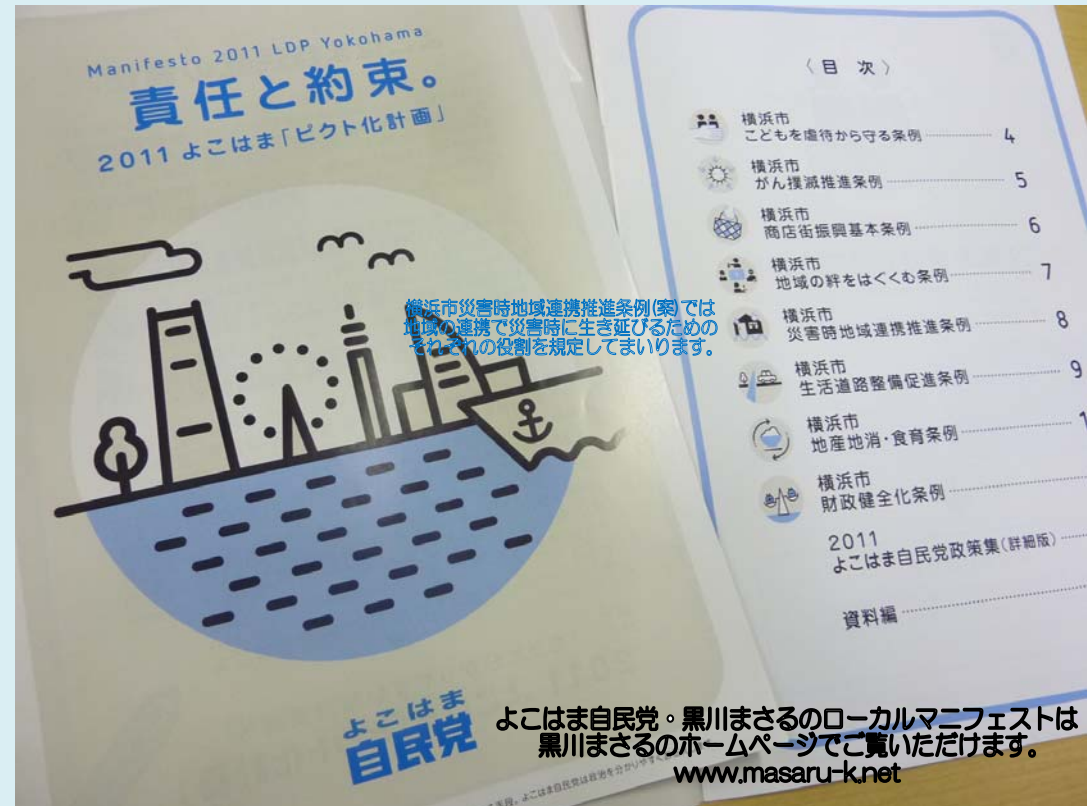
金沢区における大震災の傷跡

機関誌「ともづな」は横浜市会議員黒川まさるの日常の政務調査活動を報告したものです。公職選挙法により選挙の結果に対するお礼や、あいさつなどの文書の頒布は禁じられています。

黒川まさるのよこはま市民が 横浜市民の安心・安全を約束します。

よこはま市民党では、この4年間の任期中に実現すべき政策を「責任と約束」と題したローカルマニフェストにまとめ、市民に発信しています。8本の条例提案と5本の政策集からなる政策集では地域のつながりを大切にすることによって安心・安全な暮らしと市民の幸せを創り出すまちづくりを目指しています。LDPマニフェストを一つ一つ実現していくことが、私たちよこはま市民が信頼される政党となれる唯一の手段だと思います。

黒川まさるは、よこはま市民党の政調副会長としてこのローカルマニフェストの取りまとめの責任者を務めました。市民アンケートから始まり、若手の市民党の横浜市会議員の仲間とともに創り上げたそれぞれの政策の実現によって市民と議会の距離を縮めようとしています。これからの横浜市会の動向にぜひ注目してください。



横浜市災害時地域連携推進条例(案)では地域の連携で災害時に生き延びるための役割を規定してまいります。

よこはま市民党

よこはま市民党・黒川まさるのローカルマニフェストは黒川まさるのホームページでご覧いただけます。
www.masaru-k.net

市民に開かれた、わかりやすい政治を目指す、黒川まさるに対する期待、要望、激励、メッセージなどをお寄せください。

返信FAX 045-786-4310

お名前

ご連絡先

ご連絡いただいた方にはお返事をさせていただきます。(住所・メールアドレス・FAX番号・何でも結構です)

黒川まさるの活動は、ホームページからブログやツイッターや動画でチェックしてください。www.masaru-k.net